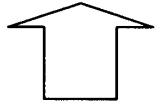
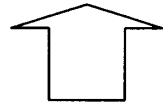


<我が国経済の基調判断>

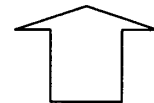
景気は、引き続き持ち直しに向けた動きがみられるものの、そのテンポはさらに緩やかになっている。



企業収益は改善の兆しがみられ、設備投資は下げ止まりつつある。



雇用情勢は、一部に改善への動きがみられるものの、失業率が高水準で推移するなど、依然として厳しい。



個人消費は、横ばいで推移するなかで、一部に底固さもみられる。



輸出は弱含んでおり、生産は持ち直しの動きがさらに緩やかになっている。

先行きについては、景気は持ち直しに向かうことが期待されるが、アメリカ経済等への先行き懸念や我が国の株価の低迷など、環境は厳しさを増しており、我が国の最終需要が下押しされる懸念が強まっている。